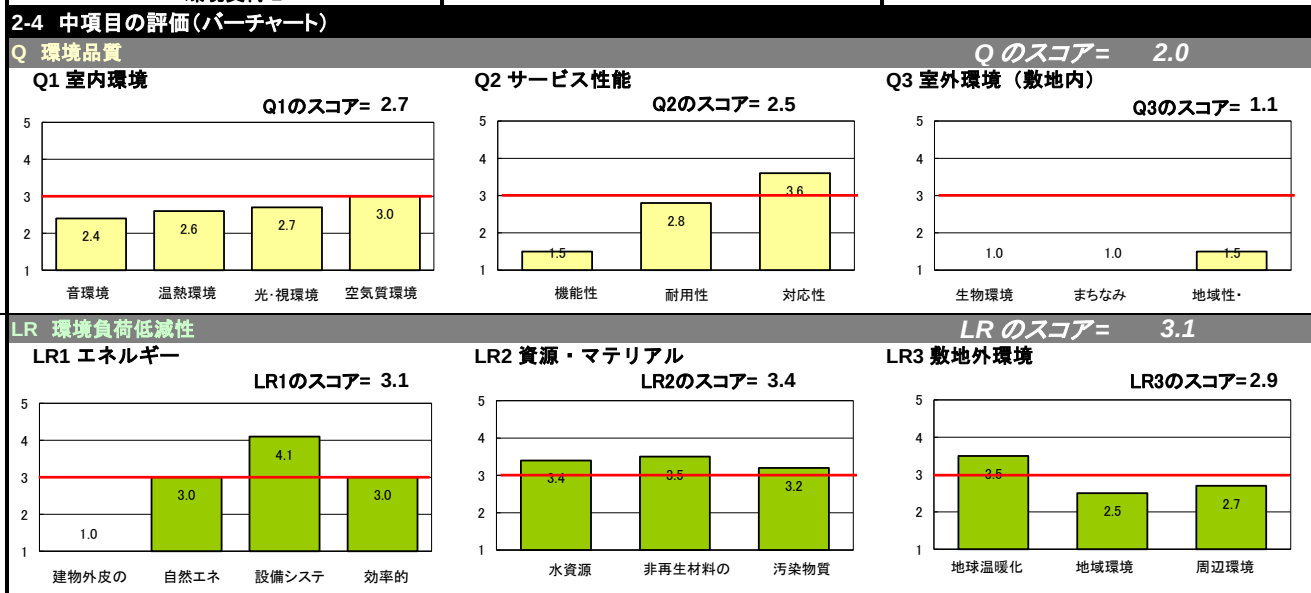
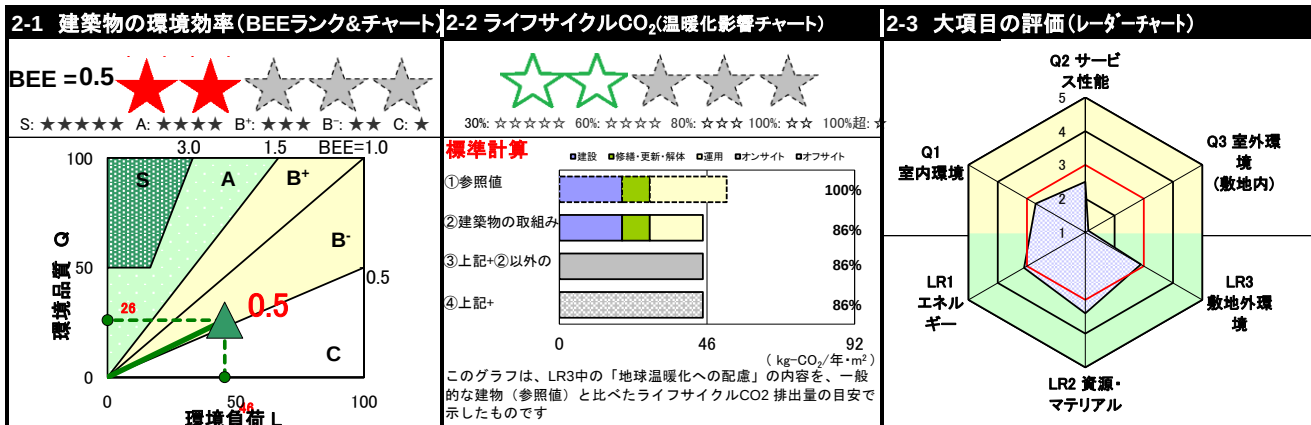




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東芝インフラシステム株式会社 小向工場 (仮称) 製造試験棟新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市磯子区新杉田町8番地	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	51 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,100 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年8月9日
敷地面積	10,477 m ²	作成者	(05316-27) 千葉 保
建築面積	1,520 m ²	確認日	
延床面積	2,306 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	製品試験を実施するために必要な空間(階高、スペース)および環境(温熱、作業照度、インフラ供給等)を有する建物として計画・設計した。	
Q1 室内環境	館内は禁煙とする。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	製品試験や組み立てなど、室用途に合わせ階高を設定。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	建屋へのアクセスルートは、隣接する建屋も含めて、安全かつスムーズに作業ができるよう配慮した。	
LR1 エネルギー	照明は全館LEDを採用。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	節水型大便器を採用した。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)製造試験棟新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 31 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2024年8月9日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

E③: 照明は全館LEDを採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)製造試験棟新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質			-		-		-	2.0
Q1 室内環境			0.30		-		-	2.7
1 音環境		2.4	0.15	-	-		-	2.4
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	-		-	-
1.2 遮音		1.8	0.50	-	-		-	-
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	3.0	-		-	-
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-		-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		-	-
1.3 吸音		-	-	3.0	-		-	-
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-		-	2.6
2.1 室温制御		2.2	0.50	-	-		-	-
1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	-		-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	-		-	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.38	-	-		-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.20	3.0	-		-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	-		-	-
3 光・視環境		2.7	0.25	-	-		-	2.7
3.1 屋光利用		1.8	0.30	-	-		-	-
1 屋光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	0.60	3.0	-		-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	1.0	-		-	-
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	-		-	-
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-		-	-
1 屋光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	1.00	3.0	-		-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境	4.0	0.15	3.0	-		-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.25	3.0	-		-	-
4 空気質環境		3.0	0.25	-	-		-	3.0
4.1 発生源対策		-	-	-	-		-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	3.0	-		-	-
4.2 換気		-	-	-	-		-	-
1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	3.0	-		-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	3.0	-		-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	3.0	-		-	-
4.3 運用管理		3.0	1.00	-	-		-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	-	-		-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-		-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		-	2.5
1 機能性		1.5	0.40	-	-		-	1.5
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-		-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	3.0	-		-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	3.0	-		-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-		-	-
1.2 心理性・快適性		1.0	0.50	-	-		-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	3.0	-		-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-		-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	1.00	1.0	-		-	-
1.3 維持管理		2.0	0.50	-	-		-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-		-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-		-	-
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-		-	2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-		-	-
1 耐震性	防 災 ⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-	-
2 免震・制振性能	防 災 ⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-		-	-
1 躯体材料の耐用年数	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-		-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-		-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	-
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-		-	-
1 空調・換気設備	防 災 ⑮信頼性	1.0	0.20	-	-		-	-
2 給排水・衛生設備	防 災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-		-	-
3 電気設備	防 災 ⑮信頼性	1.0	0.20	-	-		-	-
4 機械・配管支持方法	防 災 ⑮信頼性	4.0	0.20	-	-		-	-
5 通信・情報設備	防 災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-		-	-
3 対応性・更新性		3.6	0.30	-	-		-	3.6
3.1 空間のゆとり		4.0	0.30	-	-		-	-
1 階高のゆとり		4.0	0.60	3.0	-		-	-
2 空間の形状・自由さ		4.0	0.40	3.0	-		-	-
3.2 荷重のゆとり		4.0	0.30	3.0	-		-	-
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-		-	-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		-	-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		-	-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		-	-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		-	-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)製造試験棟新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅> <集合住宅>		評価点		重み係数	評価点	重み係数		
		6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.40	-	-	1.1	
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0	
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-	1.0	
3	地域性・アメニティへの配慮					1.5	0.30	-	-	1.5	
	3.1	地域性への配慮・快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	1.0	0.50	-	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.1	
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	1.0	0.20	-	-	1.0	
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0	
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能		③設備システムの高効率化	4.1	0.50	-	-	4.1	
4	効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-	-	
	4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
	集合住宅の評価					-	-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.4	
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4	
	1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.5	0.60	-	-	3.5	
	2.1 材料使用量の削減					2.0	0.11	-	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.22	-	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.22	-	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					4.0	0.22	-	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材					-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.22	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.2	0.20	-	-	3.2	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避					3.3	0.70	-	-	-	
	1	消火剤				2.0	0.33	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)				5.0	0.33	-	-	-	
	3	冷媒				3.0	0.33	-	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮						3.5	0.33	-	-	3.5	
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5	
	2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	
	1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	
	3	交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.7	0.33	-	-	2.7	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	
	1	騒音				3.0	1.00	-	-	-	
	2	振動				-	-	-	-	-	
	3	悪臭				-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	
	1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	
	2	砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	
	3.3 光害の抑制					1.6	0.20	-	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	0.70	-	-	-	
	2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	

上記以外の重点項目					-	-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-	-
1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-
2	適切な換気計画	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-
3	結露・カビ対策	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑮防犯対策		-	-	-	-	-